

Makuhari's Memory

山本五十六の精神で!!

日本全国でコロナウイルス感染の第7波到来が危ぶまれる中、令和4年7月11～15日の5日間で行われる「管理職を目指すステップアップ講座」に参加するため、全国から47名の精鋭が市町村アカデミーに集結しました。

豪華な講師陣による研修の内容は、中身の濃いハードなもので、人材育成・人事管理のあり方、行政経営、リスクマネジメント等に関する知識を学びました。結果、人を束ねて動かすには、自分が模範を示すこと。山本五十六の金言「やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ」。原点こそ最先端。強い組織を作るために一番必要なものは、尊敬や尊重。部下であれ、いいところは認めて称える。上司の器がデカければ、部下は黙ってついてくる、という答えを導き出しました。

また、研修のもう一つの目的として、「人脈を広げる」ことがありますが、コロナ禍のため感染リスクを考慮した、各種制限の中での交流となり、積極的な交流をすることができなかったことは、非常に残念でした。

最後になりますが、今回の研修に快く送り出してくれた上司、留守を預かってくれた同僚および部下、色々お手配してくれた研修担当部署の職員、素晴らしい講義をしてくださった講師陣、頼りない幹事を支えてくれた副幹事（さいたま市子ども未来局の高橋さん（写真左）、東京都八王子市の古関さん（写真右）、各班の座長さん、仲良くしてくれた受講生の皆さん、そして、この研修を何の不安もなく受講できるよう支援して下さった市町村アカデミーの岩田教授、越川主査、本当にありがとうございました。



石川 弘志

北海道函館市
市民部国保年金課主査
〈受講研修科目〉
管理職を目指すステップアップ講座
第36期第1組（令和4年度）